

令和6年第10回

教育委員会(臨時会)会議録

交野市教育委員会

1. 招 集 令和6年8月8日（木）午前9時00分

2. 開 会 令和6年8月8日（木）午前9時00分

3. 閉 会 令和6年8月8日（木）午後12時25分

4. 出席委員 北田 千秋教育長
村橋 彰教育長職務代理者
伊丹 香寿美委員
長谷川 深雪委員
中山 尚美委員
般谷 恵秀委員
甲斐 健委員

5. 事務局 大湾喜久男 教育次長兼教育総務室長・内山美智子 学校教育部長・大隅昌之 指導課長・堤下栄基 教育総務室長代理・佐藤洋一 指導課長代理

6. 議事日程 日程 1 会議録署名委員の指名
日程 2 会議時間決定
日程 3 議案第25号 令和7年度使用交野市立小中学校教科用図書の採択について

7. 議事内容

北田教育長 皆さん、おはようございます。それでは、ただ今から令和6年第10回教育委員会臨時会を開催したいと思います。
開催の前に、事務局から本日の出席状況を報告願います。

堤下室長代理 出席状況を報告いたします。本日の出席者は7名でございます。同時に、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により本会議が、成立いたしますことをご報告いた

します。

北田教育長

報告はお聞きのとおりです。

次に、本日のこの会議でございますが、地教行法第14条第7項の規定により公開にしたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

各委員

異議なし。

北田教育長

ご異議がございませんので、公開したいと思います。

本日は、傍聴の希望が9名ございますので、許可したいと思います。

事務局、準備をお願いします。

堤下室長代理

傍聴のみなさまにお知らせいたします。携帯電話・スマートフォンは電源をお切りいただくか、マナーモードに設定いただきますよう、お願いいたします。また、そのほか、配付しておりますプリントの記載内容を遵守していただきますよう、お願いいたします。

北田教育長

それでは、ただ今から、令和6年第10回教育委員会臨時会を開催いたします。

まず、日程1「会議録署名委員指名」を議題といたします。

会議録署名委員の指名につきましては、交野市教育委員会会議規則第20条の規定に従い、教育長が指名することとしてよろしいでしょうか。

各委員

異議なし。

北田教育長

ご異議がありませんので、中山委員を指名します。

次に、日程2「会議時間決定」を議題といたします。会議時間

決定につきましても、教育長一任とさせていただいてよろしいでしょうか。

各委員 異議なし。

北田教育長 ご異議がありませんので、ただ今から12時00分までといたします。

続いて、日程3議案第25号「令和7年度使用交野市立小中学校教科用図書の採択について」を議題といたします。

事務局から提案理由の説明願います。

佐藤課長代理 提案理由の説明に先立ちまして、配付資料の確認をさせていただきます。資料 1-1 義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令、資料 1-2 令和7年度使用教科書の採択事務処理について（通知）、資料 2-1 義務教育諸学校における令和7年度使用教科用図書の採択について（通知）、資料 2-2 令和7年度使用義務教育諸学校教科用図書採択の基本事項、資料 3 令和6年度使用小学校教科用図書一覧、資料 4 令和6年度使用中学校教科用図書一覧、資料 5-1 交野市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会条例、資料 5-2 教科書採択方式について、資料 6-1 令和7年度使用中学校教科用図書について【答申鑑文】、資料 6-2 令和7年度使用中学校教科用図書について【総合所見】、資料 6-3 令和7年度使用中学校教科用図書について【一覧】、資料 7 令和7年度使用教科用図書（中学校）調査報告書、資料 8 令和7年度使用小学校教科書について【学校所見】、資料 9 令和7年度小学校教科書見本本の発行者別一覧、資料 10 令和7年度使用小・中学校教科書展示会でのご意見、資料 11 令和6年度教科書採択（中学校学校・英語）における学習者用デジタル教科書の見本版の閲覧について、以上でございます。

なお個人情報等が含まれる一部資料については傍聴者には配付しておりません。

それでは、提案理由について説明させていただきます。

まず、令和7年度使用小・中学校教科用図書の採択について、説明いたします。

資料 1-1 をご覧ください。法律により、同一の教科用図書を採択する期間は原則として4年となっておりますことをご確認ください。

資料 1-2 をご覧ください。1（1）には小学校用教科書の採択について、令和5年度と同一の教科書を採択しなければならないこと。ただし、（省略）」とあります。

また、1（2）には中学校用教科書の採択について、「全ての教科書について、令和5年度に採択したものと異なる教科書を採択することができること。」とあります。

資料 2-2 をご覧ください。本市は、1（2）エに該当する1市1採択地区の教育委員会となります。次のページの2（2）をご覧ください。1市1採択地区の教育委員会は、教科用図書選定委員会を設置し、教育委員会の諮問により、教科用図書の調査及び研究を行い、その選定に関しては教育委員会に意見を答申することとなっております。

続いて資料 5-1 をご覧ください。第3条にありますように、選定委員会の委員は、教育委員会の事務局職員、交野市立学校の校長、そして交野市立学校に在籍する児童または生徒の保護者となっており、幅広く意見を頂くこととなっております。

第8条では教科用図書の調査研究を行う際、専門的な調査研究を行うため、調査員を置くことができるとなっております。調査員は、採択が適正に行われるために、府が提示する小学校教科用図書選定資料を活用し、必要な調査検討を行い、報告することとなっております。

地域の児童にとって最も適した教科用図書を採択するために、選定委員会として意見をとりまとめ、教育委員会へ答申を行い、教育委員会にて採択することとなっております。

以上、提案説明とさせていただきます。

北田教育長

提案の説明が終わりました。質疑を受けたいと思います。質疑はありませんか。

今説明がありましたように、同一の教科用図書は原則 4 年間採択とあります。ですが小学校につきましては、今年度については昨年度採択したものを使っておりますし、来年度につきましてもこの後採択する今年度使っているものを採択する予定としております。中学校につきましてはすべての教科書について、令和 5 年度に採択したものと異なるものを採択することが出来るということです。今回につきましては、まずは中学校の教科用図書の採択の方から審議を進めたいと思います。

配付させていただいております資料に基づきまして、選定委員長より報告をお願いします。

内山部長

それでは、「交野市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会」の調査研究結果について報告させていただきます。

資料 6-1をご覧ください。

交野市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会条例第2条に基づき、令和6年5月13日(月)、交野市立青年の家会議室において第1回交野市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会を開催し、①公正確保の観点から当会を秘密会にすること、②調査員において専門的な調査・研究を行うこと、③参考資料として、学校からの所見を求めること等を決定いたしました。

選定を進めるにあたり、各種目3名の調査員により専門的に教科用図書について調査・研究が行われ、7月4日(木)の第2回選定委員会、7月12日(金)の第3回選定委員会にて、調査員からの調査報告書に基づく口頭報告を受けました。各種目の調査報告書等を基に適正かつ公正に審議を行いました。

7月19日(金)に開催した第4回選定委員会にて最終審議し、別紙のとおりに取りまとめましたので答申いたします。

続きまして、**資料 6-3**の一覧につきましては、調査検討に基づき、発行者別に教科用図書の所見をまとめたものでございま

す。

資料 6-2 総合所見をご覧ください。種目ごとに報告いたします。

1. 国語 各発行者とも学習指導要領の国語科の目標達成に必要な内容が取り扱われている。

その中でも光村図書は、「学習の見通しを持とう」において、教材が領域ごとに示されており、1年間でどのような学習を行い、どのような力が身に付くかについて、分かりやすく整理されている。また、小学校では「問い」を持つことを意識させていたが、中学校では「問い」を持ち、発見した課題を解決することに重点が置かれている。さらに、「語彙ブック」には、生徒が表現をする際に必要な語彙について整理されており、自分の考えをまとめて発信する際の手助けとなるよう工夫されている。

三省堂は、課題解決能力を養うための「読み方を学ぼう」が3学年で22か所設定されており、単元ごとに身に付けた力を生かし、思考力・判断力・表現力を伸ばすための方法が示されている。また、巻末の資料が充実しており、授業のみならず日常生活にも役立つ内容となっている。

教育出版は、「学びナビ」が教材の前に配置され、見通しをもって学習を進める工夫がされている。また、「学びのチャレンジ」では、今日的かつ発展的な内容が取り扱われている。

2. 書写 各発行者とも学習指導要領の国語科の趣旨に沿った対応がなされている。

その中でも光村図書は、毛筆における筆圧の調整方法が1～3の数値で表現されており、生徒にとってイメージしやすいよう工夫されている。また、「学びのカギ」では、「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」の3点が学習のポイントとして焦点化されている。さらに、「文字の歴史を探る」、「季節のしおり」等、他教科と関連させた学習活動が充実している。

三省堂は、毛筆と硬筆が連動した配列となっており、毛筆で学習したことについて硬筆で活かせるような工夫がされている。ま

た、「グループ新聞」、「情報誌」、「名言集」等により、グループワークに取り組めるようになっている。

3. 社会（地理的分野） 各発行者とも学習指導要領の社会科（地理的分野）の目標達成に必要な内容が取り扱われている。

その中でも教育出版は、巻頭の見開きページで地理的分野の主な学習内容や見方・考え方等について明記されており、教科書の内容について一目で分かるように工夫されている。また、学習のまとめと表現のページでは、主に地図や表などを使った学習内容の確認や生徒自身が文章でまとめる活動を通して、自らの思考を整理できるようにしている。

東京書籍は、見開きごとに1単位時間を貫く「学習課題」が示され、「チェック&トライ」で課題を確認し深めることができるように工夫されている。また、二次元コードから学習段階に応じたデジタルコンテンツが豊富に用意されており、生徒が回答を記入し、他の生徒と内容を共有できるコンテンツが収録されている。なお、日本の諸地域に関する取扱いは少なくなっている。

帝国書院は、世界の諸地域についての問いが「～について、その地域にどのような影響が生じているだろうか」と統一した表現となっており、比較しやすいように設定されている。

4. 社会（歴史的分野） 各発行者とも学習指導要領の社会科（歴史的分野）の目標達成に必要な内容が取り扱われている。

その中でも帝国書院は、各章のはじめに、章の問いに関連した資料や学習する内容に関する問いが明記されているとともに、小学校で学んだ人物や出来事が示されており、生徒が既習事項を踏まえつつ、見通しを持って学習に取り組めるよう配慮されている。また、巻頭で複数の思考ツールが紹介されており、生徒が自分の意見をまとめたり組み立てたりしながら、思考を深める方法について分かりやすく整理されている。

自由社は、登場人物紹介コーナーが設けられた「予告編」から「対話とまとめ図のページ」まで、生徒が見通しを持って学習に取り組めるよう構成されている。また、コラム「もっと知りたい」

では、その時代の人物と事柄について取扱い、歴史的背景等について生徒の興味関心を惹きつけるような内容となっており、我が国の歴史に対する愛情等を深めるよう先人の取組みが取り扱われている。

育鵬社は、歴史学習に必要な見方・考え方について、時期や年代、推移、比較、相互の関連、現在とのつながりに分類し、具体例をあげて説明をしている。

5. 社会（公民的分野） 各発行者とも学習指導要領の社会（公民的分野）の目標達成に必要な内容が取り扱われている。

その中でも教育出版は、ページの下部に「関連」として、学習内容と関連する小学校や他分野・他教科の学習が示されており、小学校との接続や他分野・他教科とのつながりについて明記されている。また、章末の学習のまとめと表現では、思考ツールを用いて自分の考えを整理したり、整理した考えを生徒間で交流して自分の考えを深めたりする工夫が取り入れられている。

帝国書院は、民主主義や立憲主義、個人の尊重の考え方について詳細な記述があり、生徒が考えを理解しやすいようになっている。また、「アクティブ公民」では、裁判員として裁判の判決を、根拠を基に論理的に考える活動等を通して、体験的に公民について学習することができるように工夫されている。

育鵬社は、領土・領海をめぐる問題の学習において、ウクライナ問題など生徒にも身近な昨今の世界的な話題や時代に即した今日的な話題が多く取り扱われており、生徒の興味関心を高める工夫がされている。

6. 地図 各発行者とも学習指導要領の社会科の目標達成に必要な内容が取り扱われている。

その中でも帝国書院は、世界の国々については州ごと、日本列島については地方ごとに地図・資料が構成されており、いずれもそれぞれの地域の特色について具体的に読み取れるよう、「一般図」、「主題図」の順で配列されている。また、「さまざまな言語（公用語）」、「さまざまな宗教」、「アイヌ語地名と開拓の

歴史」といった、人権の学習にも生かすことのできる資料が豊富に取り扱われている。さらに、近畿地方を含む各地方の地図（歴史・文化・観光）において、ランドマークがイラストと文字で表現される中で、交野市の「ほしだの森」について記載があり、生徒が親しみを持って学習に取り組むことができる。

東京書籍は、SDGsの17のゴールを一覧にして掲載し、現代的な課題を捉え課題解決に向けた態度を養えるように工夫されている。また、地図帳の活用を補助する「Bee's eye」の問いに取り組むことで、資料を読み取る力や活用する力を高め、社会の在り方や自分の行動について考えることができるよう工夫されている。

7. 数学 各発行者とも学習指導要領の数学科の目標達成に必要な内容が取り扱われている。

その中でも東京書籍は、章のタイトルが学習内容の羅列ではなく、「数量の関係を調べて問題を解決してみよう」など、目的を持たせて取り組みやすい表現で記載されている。また、第1学年では、0章として「九九表のきまりを見つけてみよう」が取り上げられているが、既習事項から学習に入ること、生徒が抵抗感を持つことなく、数学科の学習に入ることができるよう配慮されている。さらに、巻末資料では、具体的な体験を伴う学習活動を支援するための、切り取って使用する教材が用意されているが、のり付け不要の差し込み式となっており、切り取ってすぐに活動に入れる工夫となっている。

啓林館は、学習内容の解説の前に必ず「〇〇について考えましょう」と、これから学習する上での目標を記載することで生徒が考えやすくなっていると同時に、導入において、身の回りの問題を取り上げており親しみやすくなっている。また、学年が上がるにつれ、章の導入で既習事項を思い出すような復習問題が必ず記載されており、過去の学習とのつながりを感じる工夫となっている。

8. 理科 各発行者とも学習指導要領の理科の目標達成に必要な

な内容が取り扱われている。

その中でも啓林館は、章のはじまりで見開きのダイナミックな写真を使用しており、「はてなスイッチ」の動画では、導入時における生徒の興味関心を高める工夫がされている。また、随所に小学校での学びの振り返りや高等学校での発展的な内容が紹介されるなど、小中高の学習のつながりを意識した構成となっている。さらに、「探Qラボ」や「探Qのたね」、「探Qシート」など、探究活動を通して学びを深めるツールが多く取り入れられている。

東京書籍は、各ページの左下に学習の流れ（学びのフローチャート）が記載されており、現在、どの部分を学習しているかが分かりやすくなっている。また、「じっくり探究」のページでは、実験について取り扱われており、問題を見つけ出して、どう解決するか筋道をつけて考える流れとなっている。

9. 音楽（一般） 各発行者とも学習指導要領の音楽科の目標達成に必要な内容が取り扱われている。

その中でも教育芸術社は、歌唱表現の歌詞あるいは楽曲の内容について、生徒の発達段階に沿ったものであり、合唱の編成や各パートの音域についても学年に応じて配慮されている。また、鑑賞教材では、ミュージカルについてイラストで多くの演目が紹介されており、生徒の興味関心を高める教材が設定されている。さらに、「耳でたどる音楽史」では、写真とイラストを用いて日本と西洋の音楽史の流れを比較している。

教育出版は、各題材において目標が明確に示されており、学習の見通しが持てるようになっている。また、音楽制作アプリの例を用いて、第1学年からコンピュータ音楽について取り扱われている。

10. 音楽（器楽） 各発行者とも学習指導要領の音楽科の目標達成に必要な内容が取り扱われている。

その中でも教育芸術社は、リコーダーの学習に始まり、弦楽器、打楽器、管楽器の順に楽器の基礎的な知識が身に付けられるよう

にまとめられており、「アンサンブル」、「楽器でMelody」へと系統的に配列されている。また、各楽器のページにおいて、生徒が身近に感じられるような人物を取り扱っており、興味関心を高める工夫がされている。

教育出版は、リコーダーの学習において、アルトとソプラノについて、パート分けが色分けされており、どこをどのように演奏すればよいのか生徒が一目で分かるように工夫されている。

11. 美術 各発行者とも学習指導要領の美術科の目標達成に必要な内容が取り扱われている。

その中でも日本文教出版は、3冊展開となっており、1冊あたりの重さは軽くなっている。また、表紙から背表紙まで続いた作品をダイナミックに取り扱われており、生徒の興味関心を高める工夫となっている。さらに、1年の教科書では、観音開きで「風神雷神図屏風」が取り扱われており、実際に折って立てて鑑賞できるようになっている。

開隆堂は、表紙で紹介されている作品がエンボス加工となっており、指先で触って作品の質感を想像することができるよう工夫されている。また、巻末の学びの資料では、日本と諸外国の作品を並べて比較できるようになっていたり、折り込みを活用して美術史をまとめてあったりと見やすくなっており、生徒が理解しやすくなっている。

12. 保健体育 各発行者とも学習指導要領の保健体育科の目標達成に必要な内容が取り扱われている。

その中でも東京書籍は、保健体育を通した「ウェルビーイング」をめざして、多様性・共生、防災、感染症、SDGs、ネットリテラシーなど今日的な課題への対応について生徒が主体的に考えられるよう工夫されている。また、二次元コードからデジタルコンテンツの資料を見ると、動画に字幕を付けたり、再生速度を変更する機能が備わっており、様々な生徒が学習しやすいように配慮されている。

大修館は、心身の発達について個人差を考慮し、互いを尊重し

高め合える人間関係をつくることの大切さを理解できるようにしている。また、性への関心と性情報への対処について、自撮りの被害などにも具体的に触れており、思春期を迎える生徒にとって理解しやすいように工夫されている。

13. 技術・家庭科（技術分野） 各発行者とも学習指導要領の技術・家庭科（技術分野）の目標達成に必要な内容が取り扱われている。

その中でも開隆堂は、「製作のための技能」において、それぞれの材料（木材、金属、プラスチック）について、見開きで工程が示されており、教科書をめくらず開いたまま作業できるよう工夫されている。また、プログラミングにおいて、日常生活で使われているものの中でマイコンボードがどのように使われているかについて多く取り扱われており、生徒が日常生活とのつながりを意識できるようになっている。さらに、「技術分野の出口」として、AからDの技術を振り返り、問題解決→設計→計画→製作→評価の流れについて、確認することができるようになっている。

東京書籍は、マイコンボードでの計測や制御について具体的に示されており、生徒がプログラミングに対して、興味関心を高める工夫がされている。また、ほとんどすべての右ページ上部に二次元コードが配置されており、そのページで活用できる資料やワークシートが豊富に用意されている。

14. 技術・家庭科（家庭分野） 各発行者とも学習指導要領の技術・家庭科（家庭分野）の目標達成に必要な内容が取り扱われている。

その中でも開隆堂は、家族の構成を学ぶページにおいて、参考として様々な家族の暮らし方が掲載されており、多様な家族の在り方を示している。また、性別役割分業やジェンダー、ヤングケアラーなど幅広い範囲の内容について取扱いがある。さらに、調理実習例では、写真とともに完成までの手順が左から右に掲載されており見やすく、また栄養バランスを考えた組み合わせ例につ

いても分かりやすくなっている。

東京書籍は、1編の1章として家庭分野のガイダンスが示されており、学習の見通しが持ちやすくなっているとともに、小学校での学習内容にも触れられているため学習のつながりを意識しやすくなっている。また、44、45ページでは実物大の食品が写真と説明文により示されているが、ページ下部に定規の表記があり、1日に必要な栄養の量について視覚的に分かるよう工夫されている。

15. 外国語科 英語 各発行者とも学習指導要領の外国語科英語の目標達成に必要な内容が取り扱われている。

その中でも三省堂は、単元のはじめに、small talkコーナーが設けられており、話すこと（やりとり）の場面を行う機会を増やすことで、言語能力の向上を図ろうとしている。また、食べ物にアレルギーがある友達や肉を食べない友達のためにどの料理を作るべきかや公平について問う題材を取り扱い、身近な話題から人権について考えられるよう工夫されている。さらに、デジタルコンテンツにおいて、単語のセクションでは、英語から日本語、日本語から英語について確認することができるとともに、正誤についても確認することができるようになっている。

東京書籍は、第2学年、第3学年では単元名が「問い」の形になっており、生徒が到達点を確認しやすくなっている。また、デジタルコンテンツのデジタルマップでは、日本全国及び世界50か国以上についての情報や動画、問題などが収録されており、生徒が世界について興味関心を高める工夫がされている。

16. 道徳 各発行者とも学習指導要領の道徳科の目標達成に必要な内容が取り扱われている。

その中でも日本文教出版は、いじめ問題について、最重要課題として5月、9月、1月と長期休業明けに設定し、生徒がいじめと向き合えるようにしている。また、教材ごとや学期ごとの学習を記録するワークシートが別冊「道徳ノート」として付属されており、学習を振り返ったり、これからの課題や目標を見つけたりす

ることができるようになっている。さらに、各学年において情報社会に関わる題材があり、情報モラル等の取扱いが多い。

学研は、最重要テーマを「いのち」に設定し、生命の尊さや人権を重んじ、多様性を受け入れながら、自他共に命を大事にする気持ちを育めるようになっている。また、「SDGs」、「多様性」、「キャリア」について、広い視野で社会を捉え、よりよく生きることについて考えを深められるようユニット学習やクローズアップのコーナーを盛り込んでいる。さらに、教材名の前にあえて主題名を記載しないことで、多様な考えを引き出すことができるよう工夫されている。

東京書籍は、「いじめ」、「いのち」についてユニット学習により重点的に学習することができるよう設定されている。教材ごとの「つぶやき」やデジタルワークシート、巻末に配置された学期ごとの「自分の学びをふり返ろう」などにより、学習を振り返ったり、これからの課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されている。

以上、報告させていただきます。

北田教育長

報告が終わりました。選定委員会からの報告も参考にしていながら、教育委員の皆さんのご意見をお伺いしたいと思います。総合所見にあった順番で 16 種目の採択を進めますが、16 種目ありますので 8 種目目の理科、採択の順番でいくと、(国語、書写、社会(地理的分野、歴史的分野、公民的分野)、地図、数学、理科)で 8 種目が終わりますので、その後、休憩を取りまして、後半の(音楽(一般、器楽合奏)、美術、保健体育、技術・家庭科(技術分野、家庭分野)、外国語科英語、道徳)で、採択を進めたいと思います。

お手元に見本本があります。先ほどの総合所見をお聞きになって気が付かれた点もあるかもしれませんが、お手元にもそれ以外の資料がたくさんありますし、目を通して見本本と引き換える時間がなかったかもしれませんので、5分ほど時間を取りますので

前半の8種目、国語から理科まで再度チェックしていただいて付箋を貼るなりして、気になる点をチェックしていただけたらと思います。休憩後の後半の音楽（一般）からの8種目は休憩の際に確認いただくことにして、まず、理科までの8種目の採択をお願いします。

それでは、まず国語から、見本本を見ていただきながら採択を行います。

前回、令和2年度のこの場では、採択時のポイントとして、「各単元・教材でどの目標を持って学ぶかということがわかりやすく見通しをもって学習できる」「生徒にとって進んで学習を進められそうな教材」「子どもの感情として分かりやすい作品の選び方」などが上がっていました。

今回も、教育委員の皆さんの主体的で積極的なご意見をお願いします。

村橋教育長職務代理者 国語ですが、各発行者の特徴を見ていました。読み方を学ぼうという流れ、あるいはキャラクターを使って印象付ける、学びの見通しを示して主体的に学習に取り組む姿勢、いろいろ見ていく中で、特に光村図書ですが、学びへの扉ということで、国語の教科書はフロチャート自身が縦に進んでいくという目線で、一つの特徴かと思ったんですが、生徒の目線で見たとときに、分かりやすいかな、捉えやすいかなと考えました。総則の方にありますように、学校の段差間の接続という総則のところに、小学校で学んだことを如何に中学校へ円滑に接続していくかというあたりで、そのことも視点において見たときに、問題を捉える、その次に中学では、その問題を実際に解決していこうという力、そういう視点で見たときに、光村図書の教科書は勧めたいなという視点でみております。

北田教育長 学びの扉、どの学年でもいろいろ単元ごとにありますが、1年生で言えば28ページ、縦の配列で解りやすく、小学校の学習の

流れから中学校の学習の流れにもスムーズにいくような構成をされているということでした。

他にいかがでしょう。

長谷川委員

小学生から中学生になるということで子どもが気にかかるのは定期テストだと思います。自分で如何に学習が進めやすいかという点で見えていました。光村図書は、例えば 1 年生 262 ページにありますように、2 次元コードが付いていまして C B T 形式コンピュータベーストキャスティングというふうに、タブレット上で問題が出されて、タブレット上で回答し、タブレット上で自己採点できるシステムが載っていました。これは先ほど申しましたように自分での学習、テスト対策にととても活用しやすいのではないかと思います。

北田教育長

C B T 方式は全国学力学習状況調査に数年後にはなっているかと思います。

他にいかがでしょう。

中山委員

今どきの子どもは、自分の話すことの多い、省略したりとか私も理解できないような言葉で話す機会が多いと思います。ある場所では普通に話せることでも自分の言葉で思いを伝えるということが大事だと思います。

光村図書の語り語彙ブックが分かりやすいかなと思いました。あと、教科書をぱっと見たときに三省堂の色がきれいだなと思いました。

北田教育長

光村図書の語彙ブックのことと、三省堂の鮮やかな色合いで見やすいというご意見がございました。

伊丹委員

三省堂はどうしても縦向きになってくるんですが、三省堂の 2 年生の 140 ページを見ると、情報に関連付けるということでナ

ンバーが入っていて読みやすい、いろんなところが面白いと思いました。古典に関して光村図書と三省堂の３年生を比較すると光村図書 156 ページ、三省堂 135 ページですが、光村図書は見開きで本文と地図が入っていて、松尾芭蕉が旅した場所などだけではなくそれ以外も含めてまとまっていると思います。三省堂も同じように地図が書いていますが、子どもが興味を湧くのは光村図書かなと思います。

北田教育長

光村図書は古典で子どもが取っつきにくいような題材でも興味を湧かしているということですね。

般谷委員

三省堂は解りやすく要点をついていると思います。今までの私たちの時代と比べたらいろんな心に残る文学者そういう人達のことをとおして読解力や心に残ることに繋がっている、三省堂は分かりやすい。ただ、東京書籍と光村図書は問題に対する解決力とか、読む力にもよく説明がされている気がして、子どもたちに考えさせる力を付けていくかと思いました。他の教育出版とかいろいろあるんですがまとめが解りにくいので、シンプルがいいかと思います。

北田教育長

どの出版社も努力されていますが、三省堂ということですね。

学校の教員のご意見で面白いと思ったのが、ヘルマン・ヘッセの「少年の日の思い出」が教科書にあるんです。見ていただくと、三省堂の１年生は 206 ページ、光村図書の１年生 206 ページ、東京書籍の１年生は 190 ページ、教育出版の１年生は 248 ページ、この「少年の日の思い出」は 70 年以上教科書に載っていて読み継がれている作品です。中学校の教員の意見であったのが、冒頭から 6 行目、1 年前から僕はまたチョウ集めをやっているよ、とあります。カタカナで書いている出版社とひらがなの出版社、それからチョウチョと書いている出版社があります。その理由は蝶というけどもドイツなので実際に蝶と蛾の区別

がないんです。下に絵を描いている出版社ですが、蛾みたいな絵もあります。教員にしてみたら、どう書けば一番いいのか、蝶がカタカナがいいのか、ひらがながいいのか、チョウチョがいいのか、子どもに分かりやすいのか。それから挿絵です。一番最後の部分で、それぞれ出版社の挿絵が違うんですが、この物語からするとこの挿絵かなってというようなところを教員は考えたわけです。

みなさんはどう思われますか。

その教員はこれは蛾も含んだ蝶なので、ひらがなの「ちょう」がいいのではないかと、挿絵の方も少年の思いも全部考えると、光村図書の挿絵が入っているのがよいと。個人の主観もあると思います。そういう中で、教員の意見としたら光村図書の物語に対する姿勢を評価をしていただいています。同じ作品を比べると各出版社の特徴が分かりやすいかもしれないですね。

他にいかがでしょう。

いろいろ評価はありました、ご意見の感じからすると光村図書ということでしょうか。

たくさんの意見をいただきましたが、国語については、みなさんのご意見をまとめると光村図書の国語がふさわしいということとでよろしいでしょうか。

各委員 はい。

北田教育長 それではお諮りします。令和 7 年度使用中学校教科用図書「国語」については、光村図書の「国語」を採択することに異議はありませんか。

各委員 異議なし。

北田教育長 異議なしと認めます。
次に、書写の採択を行います。

前回、令和2年度のこの場では、採択時のポイントとして、「毛筆で学んだことを硬筆につなげる意識」「自分の考え、自分らしい表現、などを文字の使い分け、表現できるかという意識」「筆の運び方など丁寧に書かれていて見やすいか」などが上がっていました。

では、委員の皆さんのご意見をお願いします。

長谷川委員

光村図書の27ページですが、実際に切り取って使えるハガキが付いています。メール、スマホが生活に欠かせなくなっていますが、はずかしながら私の子どももハガキを書いたことがないかもしれません。書く機会がなかったのかもしれませんが。年賀状は幼いころにさせていたと思いますが、やはりハガキの書き方ぐらいいは知っていてほしいという思いもありますし、ただ年賀状が減っている現状がありますから、ここに年賀状を書こうというタイトルで課題があるのは先生方がどう思われるのかというところはあるんですが、そこは面白い点だと思いました。

北田教育長

普段なかなかハガキが来ても書いたりしない子どもたちですが、いい教材というご意見でした。

村橋教育長職務代理者

筆を使って文書を書く機会がなかなかないと思いますが、書写の時間も貴重だなと思います。漢字に対しての知識も理解できると思うし、筆順だとか大事だと思います。点画が分かりやすく示したものがどれかと5社見たんですが、点画の変化、抽出のかたちはどうかなど、光村図書が分かりやすいと見させてもらいました。実際に書く時ですが、見本を見ながら半紙に書くんですが、半紙をイメージしたときに、どの示し方が一番分かりやすいかなと、光村図書の示し方が半紙に近いと見させてもらいました。

北田教育長

光村図書と教育出版が半紙の原寸大、三省堂が一回り小さいですね。

他にいかがでしょう。

伊丹委員 光村図書の巻頭に「書写ブック」があって教科書が分厚いんですが、別冊になるように切り離せるので若干薄めのところがあるのと、先ほど長谷川委員から年賀状のお話がありましたが、他社も書く練習が出来るようなページがあったり、日常生活でも使えるようなことを意識していて、単に毛筆で書くだけでなく、普段の生活にも通じるように意識されていると思います。

北田教育長 教員の意見でも割と「書写ブック」を高く評価する意見がありました。委員の皆さんの意見としたら光村図書の中学書写がふさわしいということではよろしいでしょうか。

各委員 はい。

北田教育長 それではお諮りします。令和7年度使用中学校教科用図書「書写」については、光村図書の「中学書写」を採択することに異議はありませんか。

各委員 異議なし。

北田教育長 次に、社会の地理的分野の採択を行います。
前回、地理的分野、歴史的分野、公民的分野で3分野別々に採択いたします。令和2年度の採択時のポイントとして、地理だけではなく他の分野でも各委員のご意見では「日々の生活や社会に活かせるよう工夫されているか」、「最新の資料や写真等で質の高い学びができ知識を得ることができるか」、「環境や防災、人権など世界各地で課題となっていることに生徒が主体的にアプローチできる構成になっているか」などが3分野共通して上がっていました。では、初めに地理的分野から採択いたします。委員の皆さんのご意見をお願いします。

伊丹委員 東京書籍は先程もＣＢＴの話が出ましたが先日の新聞などの報道でもやはりＩＣＴを活用した教科書があると出ていましたので、そういった点でＩＣＴの活用は必要なのかと思います。東京書籍は二次元コードの記載が多いというところと、入っていくとクイズがありまして知識の定着にいいのかなと感じました。

北田教育長 二次元コードの活用が東京書籍の方がしやすいということでした。

甲斐委員 地理、地図、どちらかで悩むところがあったんですが、教育出版は6ページバビロニアの世界地図ですか、紀元前600年ごろの。私も初めてで驚いたことがあって、子どもの興味が引き出されるような気がして。

村橋教育長職務代理者 地理は興味を持たせる、それは導入の段階でいかに写真でとか、近畿地方の大阪とか滋賀県とか、そのあたりのやり方を見たときに教育出版の教科書の作りがその地域を学ぶ、そこで自分の住んでいるところ、その周辺その近くが載っているから、非常に勉強しようという気になる。それは大きいと思いました。

長谷川委員 東京書籍の教科書から、先ほどの如何に自分で学習に取り組みやすいかという点で、例えば114ページ、126ページ、同じ章の中にまとめの活動というところが設けられていまして、覚えることが地理は多いんだと思いますが、それを簡単に分かりやすく、確かめられるテストですとか、振り返り、また自分だけではない見方、考え方を整理してまとめるグループ活動もつなげられるように、まとめの活動というページがとても見やすく活用しやすいなと思いました。

北田教育長 自分で勉強しやすいということですね。

他にいかがでしょう。

地理ですので、日本のこともそうですし、日本周辺の海外のことも含めてご意見があればお願いします。

伊丹委員

先ほど教育長が言われた、周辺の地理とかの観点でいくと、教育出版の50ページに中国の話で、政策であったり歴史的な観点も若干入っているかもしれないですが、非常に整理されていて、日本との関係を考える中では、地理的分野からも意識されていて中国との関係については非常にページを割いていていいのではないかとします。

北田教育長

いろいろ課題はありますけれども、他にいかがでしょう。

般谷委員

東京書籍のチェックをしたりマークをしたり、振り返って物事を見たり、自分たちの想像する考えという意味では、非常に優れているのではないかと思います。日本文教出版とかありますがその中で、みんなで物事を考えていくというところの大差はないと思いますが、自分の考えをまとめていくということで残していける。今はデジタル化になってくるほど記憶に残っていることが少ないと思います。でもグループ活動やみんながいろいろ自分の考えをまとめていこうとするかたちの部分で、こちらのチェックしながらトライして活動していく東京書籍がいいかと思います。

北田教育長

なかなかどの出版社も甲乙付け難いと思います。

甲斐委員

教育出版は多くのページでイラストの人物が登場していて、例えばオゾン層がイラストになって凄くいいところを指摘してくれているので、学びやすいと思いました。

北田教育長

イラストがあってポイントがわかりやすい。

先ほど前回の令和2年度に触れましたが、防災や人権、そのへ

んも社会科は大事になってきますが、そのあたりの観点で、他に
ご意見があればお願いします。

長谷川委員 人権というところになるか分かりませんが、アイヌ民族について多く取り上げられていたのは教育出版でした。教育出版の276ページ、アイヌ民族という単語だけでなく、その文化について地図を入れながら一番多く取り上げられていました。

北田教育長 学校の教員の意見を見ても、教育出版の方は「人権をめぐる現状と課題について考慮できる」と書いてあります。そう意味ではどの教科書会社も人権については、非常に丁寧に扱っていらっしゃると思いますが、特に教育出版はということです。

村橋教育長職務代理者 調べ学習について見ているんですが、どういうふうに調べ学習を進めるか、協議しながらとか、そういう紹介が多いのはどこかという視点で見たら教育出版が多いと思うんです。

北田教育長 自ら調べるという視点では教育出版ということですね。
いろいろご意見が出ていますが、人権も含めて、教育出版がふさわしいということでまとめさせてもらってよろしいでしょうか。

各委員 はい。

北田教育長 それではお諮りします。令和7年度使用中学校教科用図書「社会（地理的分野）」については、教育出版の「中学社会科地理地域に学ぶ」を採択することに異議はありませんか。

各委員 異議なし。

北田教育長 異議なしと認めます。

次に、社会の歴史的分野の採択を行います。
委員の皆さんのご意見をお願いします。

長谷川委員 帝国書院の教科書の各ページ右側にずっと年表が出ています。
これはとても見やすい印象です。全体的にも資料や写真が多い印象を持ちました。

伊丹委員 総合所見では、帝国書院と自由社と育鵬社の3者が上がっています。その内、育鵬社とか自由社は「もっと知りたい」というのがあって、非常に詳しく書いてあります。教科目標あると思いますが、自由社だと愛国心を特化したような記載があって、これはこれで面白いと思います。ただ、歴史のことなので、こういうのがあってこれこれこうですと、お互いに知った上で言うのはいいんですが、教科書として愛国心的なものが出てしまって他は知らないというのはどうかなと思うので、この中では帝国書院がいいかなと思います。

北田教育長 私も、自由社の「もっと知りたい」は、川中島の戦い二宮尊徳とか、大人は知っていても、子どもが知らないということもありますので、そのあたりで読むということも一つの勉強なのかなと思いました。ただ、伊丹委員がおっしゃったように、歴史はいろいろ評価が変わることもあるし、そのへんで言うと帝国書院が教科書自体は相応しいかなと思います。

先ほど地理でも自分で学習できるとか、学習を深めるとかご意見がありましたが、歴史の教科書についてどうでしょう。

甲斐委員 帝国書院ですが、26ページ、27ページのところにスケールのあるイラストを採用されておりまして、凄く臨場感があります。タイムトラベルというタイトルを付けているところがいいと感じます。

北田教育長 今おっしゃったように、教員の意見でもタイムトラベルとか章の問とか学習の見通しが持ちやすいという意見もありました。

村橋教育長職務代理者 帝国書院の地図は凄く昔からですが、図の入れ方、表示の仕方が凄く上手だと思います。生徒にとって見やすい。学習の流れが分かりやすいと思います。どういうふうに展開して、最後にまとめて、それを班で話し合ったり、それについて自分が説明する立場になる。流れがつかみやすいです。

北田教育長 学習の流れがつかみやすいということですね。
 今、帝国書院のご意見しかございませんでしたので、まとめとしては歴史的分野につきましては、帝国書院の「社会科中学生の歴史日本の歩みと世界の動き」がふさわしいということによろしいでしょうか。

各委員 はい。

北田教育長 それではお諮りします。令和7年度使用中学校教科用図書「社会（歴史的分野）」については、帝国書院の「社会科中学生の歴史日本の歩みと世界の動き」を採択することにご異議はありませんか。

各委員 異議なし。

北田教育長 異議なしと認めます。
 次に、社会の公民的分野の採択を行います。
 委員の皆さんのご意見をお願いします。
 政治、経済、現代社会を学ぶ教科ですが、特に3年生で学習する教科になります。
 以前は中学校3年生と言えば、まだまだ子どもという感じでしたが、今は18歳で選挙権がありますので、卒業した3年後には選

拳や、政治、経済とか、中学生にも興味を持ってもらわないといけないというところです。

伊丹委員 帝国書院の、ジェンダーの取り扱いに関してですが、48ページ以降で記載されておりまして、最近婚姻の平等や性別の記載であったり裁判もかなり行われていて、時代とともに変わっていますので、そのへんを意識して書いていただいているのは面白いと思いました。

長谷川委員 教育出版の振り返り、まとめのページに着目しました。各出版社も振り返りのページはあるんですが、やはり教育出版のページが見やすく、取り組みやすく、まとめやすいのかなという印象です。

村橋教育長職務代理者 社会の目標で、課題を主体的に解決しようとする態度を養うとありますが、多面的多角的な考察や深い理解を通してという部分と我が国の領土や歴史に対する愛情を養うという、教育出版の内容は、見方・考え方を捉えて見たんですが、多面的、多角的な視点でこれを見ていくんだと分かるんです。見通しもそうなんですが、主体的・対話的で深い学びに進んでいけると思います。

それと資料の活用というあたりで、公民の技も含めて特徴が見られるなと思います。

北田教育長 先ほどちらっと申し上げましたが、18歳で選挙権がありますので、政治に関する関心や考え方は、中学校3年生で学んで3年後には選挙に投票して、自分の意志で国政なり市政なりを決めていくとなるわけです。

伊丹委員 今おっしゃった選挙権のお話で、教育出版と帝国書院を見比べていて、教育出版は86ページからです。帝国書院は100ページからです。教育出版の方が選挙に関してはページ数もさかれてい

ていいなと思いますし、89ページの中で、選挙について考えようと、小選挙区制と比例代表制というかたちでイラストも含めて仕組みが分かるかたちで分かれていますので、どうかたちで選挙が行われているのか分からない子もいるので、非常に関心に向けてるようなかたちで記載をされているのかなと感じます。

北田教育長 90ページの「18歳選挙権と私たち」という題の方も教育出版の方が18歳の選挙を意識されているような感じがします。

甲斐委員 教育出版の128ページ、どこのページにもあるんですが、学びをその先に活かすというような投げかけがあって、ここに触れている、最先端のリアルな事例のそのあたりを掲載されているのが情報収集力とか素晴らしいと思って、凄くリアルな学びに繋がっているかと思います。

北田教育長 新しいことを情報に取り入れて、学びに繋がっているということですね。

いろいろご意見が出ましたが、社会（公民的分野）については、みなさんのご意見をまとめると教育出版の「中学社会公民ともに生きる」がふさわしいということではよろしいでしょうか。

各委員 はい。

北田教育長 それではお諮りします。令和7年度使用中学校教科用図書「社会（公民的分野）」については、教育出版の「中学社会公民ともに生きる」を採択することに異議はありませんか。

各委員 異議なし。

北田教育長 異議なしと認めます。
次に、地図の採択を行います。

では、委員の皆さんのご意見をお願いします。

以前は判が違ったりもあったんですが、今は大きさも同じですし、見比べていただいてどちらが子どもたちが使いやすいか見やすいかというあたりで検討していただければと思います。

伊丹委員

ヨーロッパの地図ですが、帝国書院は49ページ、東京書籍は33・34ページです。帝国書院は左側に第一次世界大戦からの国の変化が記載してあって、地図だけと歴史的な分野ともリンクしているし見やすくなっているのも、そういった点で、地図以外も学べるということで帝国書院が見やすいかなと思いました。

北田教育長

先ほど村橋教育長職務代理者の方から身近なところとありましたので、近畿地方を比較していただきたいと思います。

帝国書院106ページ、東京書籍86ページです。我々が住んでいる身近というところで、このへんを見ていただいて、見やすさとか、色合いとか、活用しやすさとか。もう1ページめくっていただいたら、それぞれより詳しい交野周辺も含めて書いてあります。

村橋教育長職務代理者

近畿地方のことで、両者見比べてみて特徴は、帝国書院の方の地図の106ページ右下を見てもらったら、市街地からその他まで書いていてそれをもう一度地図の方に目を移すと、どこがどういう項目になっているか分かりやすい。これが特徴だと思います。色使いとか、見やすいとか、総合的に見たときに、見やすいのはどっちかと、特徴の活用の仕方も含めて、帝国書院が分かりやすいかと思います。

北田教育長

このへんを見て、この地図で見ると分かりやすいということですね。

般谷委員

両者見比べて、帝国書院の方が世界地図が載っていて、世界の

生活や文化に対することが書いてありまして、その中に宗教的な事が21ページに解りやすく載っています。各世界においての宗教という事、子どもたちにいろんな宗教がある、いろんな事を学んで考えていくべきだと思います。そのためにはどちらかというと帝国書院が非常に分かりやすいと思います。これから子どもたちが世界を知るうえで必要だと思います。

中山委員 地図のこの場所の次はそっちとあって、その先の次が見たいとなったときに、例えば帝国書院の49ページ、東京書籍もあるんですが、両方その続きと見たときに、帝国書院は、続きに26ページ、27・28ページも⑤が続きだよと探しやすい。具体的に、どこになるかなとなったときに、何ページのどこということが書いてあって探しやすいかなという気がしました。

北田教育長 帝国書院のご意見が多かったので、地図については皆さんのご意見をまとめると、帝国書院の「中学校社会科地図」でよろしいでしょうか。

各委員 はい。

北田教育長 それではお諮りします。令和7年度使用中学校教科用図書「地図」については、帝国書院の「中学校社会科地図」を採択することに異議はありませんか。

各委員 異議なし。

北田教育長 異議なしと認めます。
次に、数学の採択を行います。
前回、令和2年度のこの場では、採択時のポイントとして、「小学校からのつながり」「自主学習やイメージをもって学習する工夫」「習熟段階に応じた学習」などが上がっていました。

では、委員の皆さんのご意見をお願いします。

ご意見が出にくいようでしたら、小学校と中学校のつながりとか、算数数学同じような感じかもしれませんが、子どもたちから見たら全然違うと感ずることもありますし、小学校とのつながりですとかそのへんはいかがでしょう。

村橋教育長職務代理者 東京書籍ですが、小学校と中学校をつなぐという、算数から数学へつなぐということで、0章から学んでいったらその流れがよく分かるということです。どういうふうにしてやっていくかというところで、250ページですが、学びをつなぐというあたりで、生徒が振り返ることによって更に次のステップに行ける。小学校でこれこれ、中学校で1年でこれ、2年でこれ、いろんな学びの流れという事。ここの作りとかもっと数学につなげるというあたりで、振り返りも含めてこのページは面白いです。そこに個人問題等も載っています。この本の特徴はそうだなと思います。

啓林館の教科書は、ステップ1、ステップ2、ステップ3と段階の設定があって解決する。そして振り返って問題を深める。ステップの段階が分かりやすい。ポイントを掴みやすい。それは大きいと思います。

教育出版の教科書にしても、例えば22ページは正の数、負の数を学習する前に小学校の5年生の数の大小など。何をもって交野市の生徒に数学を勉強してもらうのにどんな教科書かというときに、何をというあたりで考えるかということですが、それぞれ生徒が学びやすい、段階を追って小学校、中学校につなぎかたが学びにつなげるんだというあたりで教科書を判断したいと思います。

北田教育長 東京書籍、啓林館、教育出版と小中つながりを含めていいなというご意見ですね。

他にいかがでしょう。

甲斐委員

東京書籍の冒頭にありますマスコネクトこれがすごくいいなと思います。私は中学校の数学でつまずきました。小学校では算数は出来たのにという子どもは多いと思いますが、そういう中で精神的な衝撃を取り除けるような、数学を何で勉強するのかということとか、単なる数字を掛けるだけではないとか、いいなと思いました。2年生の179ページです。牛乳の販売に結び付けているところが身近で興味を持ちやすいと思いました。

北田教育長

確かにおっしゃるとおりで、小学校では算数が出来たのに、中学校に入ったらつまずく。そういう意味では繋がっているということが凄く入りやすいですし、今おっしゃったように、牛乳の売れ行きとかそういうことで進めて行くのは興味深いですね。
他にいかがでしょう。

伊丹委員

先ほどおっしゃったように、数学は得意、不得意が別れる科目だと思います。不得意な子にとったら、「何でこんなことしないとかあかんのかな」というところはあるかと思います。啓林館も東京書籍もそういうところも意識されていて、啓林館は数学ガイドという子どもが出て来て、まめ知識が書いてあるページがあります。東京書籍は巻末に数学の自由研究というかたちで何ページかに渡って、数学に関連して社会でこう使われていますというようなかたちの記載がいろいろとあるので、これを見ているだけでも見るのは面白いし、そういう意味で数学の意味というか普通なんだよ、ということが分かるかなというところがあります。東京書籍の最後に、もっと数学をつなげようということで、1年のまとめであたりだとかが書いてありますが、非常に見やすくまとまっているので、学んだことが分かるし、次につながるようなかたちだと思いました。

北田教育長

他にいかがでしょう。

東京書籍、啓林館、教育出版の3者が上がって、東京書籍が意

見적으로는多いかなという感じがします。

学校からのご意見を聞くと、東京書籍が各ページにQRコードがあって確認問題がスムーズに出来て、個人で振り返りが確認できる。自分で学習するというあたりで使いやすいという意見が学校からはありました。

特段ご意見がないようでしたら、みなさんのご意見をまとめると東京書籍の新編「新しい数学」がふさわしいということによってよいのでしょうか。

各委員 はい。

北田教育長 それではお諮りします。令和7年度使用中学校教科用図書「数学」については、東京書籍の「新しい数学」を採択することに異議はありませんか。

各委員 異議なし。

北田教育長 異議なしと認めます。
次に、理科の採択を行います。
前回、令和2年度のこの場では、採択時のポイントとして、「実験もあるので見やすさ」「学習の流れが理解しやすい工夫」などが上がっていました。

では、ご意見をお願いします。

私たちの子どもころと違って、写真も含めて大人も楽しめるような構成になっていますし、どの発行者も工夫されていますので、そんなに大きな差はないのかもしれませんが、先ほど申し上げた前回のポイントの学習の流れとか、見やすさとか、そのへんも含めてご意見いただけたら有難いです。

村橋教育長職務代理者 3者見ていったんですが、東京書籍は、ビジュアルですと写真とかイラストとか色的に魅力的に学ぼうとする気持ちになるな

と思います。探究の見える化というあたりでそれぞれ探究のステップをアイコンで示されている。教育出版は各学年の巻頭に探求の進め方が一番にあります。学習指導要領の理科でその目標で必ず出てくるのは、自然の地物、現象について理解を深めて端的に探究するために必要な観察、実験などに関する議論を見据えること。あくまで探究するためにどうやということが書かれています。啓林館の教科書を見たときに、探求する力を如何に育てるかということで、それぞれの節の構成が分かりやすいんです。課題のマークがあって、その課題を追求するような、その課題を解決していくそのプロセスが分かりやすいです。観察、実験などを通してそれを探求していくんだと。そのあたりが表現力、説明も含めて分かりやすいというふうに思いました。

北田教育長

3者の特徴を見せていただきました。理科も答えられると面白いですが、子どもたちにとってはなかなか難しい教科でもあるかもしれませんが、そのへんも子どもたちにも解りやすく興味を示して、取っつきやすい工夫でも結構ですし。

伊丹委員

東京書籍は興味を引きやすいような漫画を描いていて興味を引きやすくなっているとか、2年生の元素周期表もイラストで説明されていて、こういうものに使われていますということで興味を引きやすいようにはなっているのかなと思います。啓林館は方向性は違うかもしれませんが、章の最初のところに学ぶ前にトライということで、実生活に繋がるようなかたちで入っているので学びやすくなっているのかなと思います。

北田教育長

東京書籍と、啓林館の2者のご意見をいただきました。

他にいかがでしょう。

評価の高かった啓林館と東京書籍の同じページを見ていただいて、ご意見をいただきたいと思います。

啓林館の3年生の56ページから、東京書籍は232ページから、

太陽系とか宇宙ということで、地球にいる人間から見ると体験的には難しいところで、教科書の工夫によって子どもたちがどんなに身近に感じるかということかもかもしれませんが、同じような太陽系、太陽系の天体ということで、啓林館56ページ、東京書籍232ページに載っていますが、このへんいかがでしょう。

伊丹委員 両者比較して、東京書籍は情報量が多かったり、学習内容の整理ということで240ページで、天体関係に関するまとめが書いてあったりして、私は東京書籍がいいと思いました。

般谷委員 啓林館は中学生3年生で自然を映像にしても、視覚で物事を捉えていくようにしていてより易しいです。もっと詳しいのは東京書籍がより詳しいと思いました。少し難しいですが。

北田教育長 より詳しい方がいいのか、授業に馴染みやすい方がいいのか、難しいですね。学校の意見からしても、東京書籍、啓林館、両者同じくらいの評価で出て来ています。

中山委員 啓林館は巻末で1、2、3年生すべてにSDGsのことが書かれていて、常に子どもたちが考えられるようになるんじゃないかなあと思います。

北田教育長 そういうSDGsを考えるきっかけになりますよね。

甲斐委員 甲・乙付けがたいですが、探求ということに関しては、啓林館の方が初頭でイメージを引き出すような工夫をされているように思いました。

北田教育長 甲・乙付けがたい決めがたいところはあるんですが、皆様のご意見を総合していくと啓林館の「未来へひろがるサイエンス」がふさわしいという気がしますのでまとめたいと思います。たく

さんの意見をいただきましたが、理科については、みなさんのご意見をまとめると啓林館の「未来へひろがるサイエンス」がふさわしいということによろしいでしょうか。

各委員 はい。

北田教育長 それではお諮りします。令和7年度使用中学校教科用図書「理科」については、啓林館の「未来へひろがるサイエンス」を採択することに異議はありませんか。

各委員 異議なし。

北田教育長 異議なしと認めます。
次に、音楽（一般）の採択を行います。
前回、令和2年度のこの場では、採択時のポイントとして、「学習目標がはっきり提示されている」「広く文化から世界を知る」「生徒も意欲的に取り組める構成」などが上がっていました。
では、委員の皆さんのご意見をお願いします。

中山委員 教育芸術社は、要所要所に日本の歴史と比較するページがあります。西洋の音楽と日本の歴史というのが、私もあまり音楽と西洋がつながっていなかったりします。たくさんあるんですが、例えば、1年生の63ページ、年表があると思いますが、これが要所要所に付いているので、比較して日本のこの時代の時に西洋はこの時代なのかとか、ショパンの時代ベートーベンの時代と解っていても日本の時期に当てたらどの時代になるだろうというのが見ていてあります。日本の伝統文化についても載っていますし、2・3年の（上）の30ページからを見ていただいたら、創作活動についても明記があるんですが、教育芸術社の方が未来を楽しみながら想像していたり、自然にそちらに流れるようにされているのいいかなと思いました。教育出版は「劇場に行きましょう」

というのが、2・3生（上）66ページにあって、私も音楽に携わっていますが、やっぱり生の音に触れてほしいなと思うので、教育出版が「劇場に行きましょう」という感じで誘導していただけるのは有難いと思いますし、教育出版は巻末に伝統な楽器があるのは凄く見やすいのと、中学生になるとリコーダーのことが小学生と全く変わってきますし、年表とかカラーを入れているのが見やすいと思います。

北田教育長 それぞれ教育出版と教育芸術社の特徴のご意見をいただきました。他にいかがでしょう。

理科と同じでどちらかという大きな差はあるわけではないように思うんですが、子どもたちがこれを使って歌ったり、あるいは合唱したり、音楽の歴史を考えたりするときに、使いやすい活用しやすい、そういう観点でも結構です。

中山委員 後ろのページに教育芸術社は日本の伝統の祭りや芸術ということで後ろに載っているのも、子どもたちの目も自然にここに行くのかなと思います。

伊丹委員 教育芸術社2・3年（下）の64ページに、音楽に関する著作権の記載があって、そういう点では教育出版にはなかったと思いますので、教育芸術社の方がいいのかなと言う気はします。

長谷川委員 普段から音楽に触れているお子さんはより、逆に普段全く触れていない子どもたちが、ちょっとでも音楽に興味を持ってもらえるような教科書がいいなと思って見ていたんですが、音符も読めるお子さんと読めないお子さんの差が大きくなってくるといいますが、じゃあ、音符がいっぱい載っているのがいいのかというと、そうでもないような気がしますし、音楽は文字での説明や背景の説明が多いのは教育芸術社かなという印象です。音楽に興味を持っていただくという姿勢で見えています。

北田教育長 音符だけでは逆に苦手意識をつくるけども、写真や文字も大事だと思います。

村橋教育長職務代理者 教科書のつくりで、音楽活動は楽しいですよ、体験を通して音楽を学ぼうとする、そういうところを基に教科書をつくる。生徒の視点で考えたら、教科書のつくり方というのは、ぱっと開いて中学1年生の音楽を学ぶのは、すっと入れるようにする。目次の後にすぐ、音楽ではこういう学習内容ですよというのが分かりやすいかなと。音楽の3つの資質、能力を学ぶというときに、取っつきやすいというのが一番だと思います。そこで如何に音楽に持っていけるか大事だと思っているので、そういう教科書づくりを大事にしたいと思います。

北田教育長 そうしましたら、いろいろご意見をいただきましたが、みなさんのご意見をまとめると教育芸術社の「中学生の音楽」がふさわしいということによろしいでしょうか。

各委員 はい。

北田教育長 それではお諮りします。令和7年度使用中学校教科用図書「音楽（一般）」については、教育芸術社の「中学生の音楽」を採択することに異議はありませんか。

各委員 異議なし。

北田教育長 異議なしと認めます。
次に、音楽（器楽合奏）の採択を行います。
では、委員の皆さんのご意見をお願いします。

中山委員 教育出版社は後ろに運指表とかがあるので見やすいのと、用語

や記号などもいいのかと思います。

甲斐委員 一般もそうですが、教育芸術社の方は、QRコードがたくさん付いていて、より深く興味が出るかなと思いました。

北田教育長 先ほど中山委員の方から、リコーダーとありましたが、中学校で多分初めてアルトリコーダーを子どもたちは手にすると思うんですが、ご意見がでないようでしたら、教育出版が8ページからリコーダー、教育芸術社が10ページからリコーダー、同じところを比べていただいてご意見があればお聞きしたいと思います。

伊丹委員 教育芸術社の12ページで間違った吹き方の記載があったり、余り馴染みのないお子さんにも配慮したかたちでの記載があるのかなと思います。そういう意味ではやりやすい感じはします。

北田教育長 いろいろの意見をいただきましたが、音楽（器楽合奏）については、みなさんのご意見をまとめると教育芸術社の「中学生の器楽」がふさわしいということによろしいでしょうか。

各委員 はい。

北田教育長 それではお諮りします。令和7年度使用中学校教科用図書「音楽（器楽合奏）」については、教育芸術社の「中学生の器楽」を採択することに異議はありませんか。

各委員 異議なし。

北田教育長 異議なしと認めます。
次に、美術の採択を行います。
前回、令和2年度のこの場では、採択時のポイントとして、「資

料としての工夫」「興味を高める工夫」「苦手な生徒にも解りやすい工夫」などが上がっていました。

では、委員の皆さんのご意見をお願いします。

先ほど総合所見、「風神雷神図屏風」が書いていました。開隆堂が1年生の26ページ、日本文教出版が同じく1年生26ページです。ご意見がありましたらお願いします。

村橋教育長職務代理者 日本文教出版は教科書のつくりで3冊に分かれて見たときに、それぞれの1年、2年、3年の学年趣向で、何を学ぶかというそのへんの解りやすさを見たときに、1年生で出会って2年、3年（上）で学ぶ、それで（下）にきて学びの探求と未来。そのへんのまとめ方というかプロセスで、その流れで学ぶというのが分かりやすい道になっているという実感です。

伊丹委員 日本文教出版は3冊に分かれているんですが、開隆堂は2冊なので、2年生3年生が同じで、持ち運びのことを考えると3冊に分かれている方がいいのかなと言う印象はあります。

般谷委員 子どもが美術に入っていくのにですが、開隆堂と日本文教出版を比べても、日本文教出版は芸術に対してのことをインパクトをもって、いろいろな有名人の凄い作品を出しているんですが、デザイナー、モデルを出してきているそんな中で、子どもたちにとってはこういう身近な学生が持っているポーチなんかにも目を向けたり、美術品を作品としてあったり、見やすいような中で自分もこんなものを持ってみたい、作ってみたいというのが1年生であって、次の2年3年に入っているのでもいいのではないかと思います。

北田教育長 子どもにとっては、身近なところから入っていけるということですね。

長谷川委員 日本文教出版が、各学年で1冊ずつに分かれてはいるんですが、そのぶん圧倒的資料の写真の多さが際立つなと思っています。使われている題材が身近なものであったり、例えば美術2年3年（下）44、45ページ、見たことあるような題材を使っておられたりすると、圧倒的資料、写真の多さが際立つ印象です。

北田教育長 デザインとか写真でいうと、日本教育出版かなあと。他にいかがでしょう。

中山委員 美術というと、日本の漫画アニメは海外から評価が高く賞を取ったりされています。開隆堂は漫画を取り上げて1年生の8ページ「すすめの戸締り」2年生の2ページで「ジョジョの奇妙な冒険」、漫画も芸術として教えてもらえるのかなと思います。ただ、開隆堂は重いのが難点で、光村図書も日本文教出版も3冊に分かれているので持ち運びは軽いと思います。

北田教育長 アニメとか、子どもの興味を考えると開隆堂ということですね。

甲斐委員 逆に質問ですが、開隆堂の表紙のエンボス加工ですが価格とかはどうですか。

北田教育長 無償配付です。

甲斐委員 そこは気にしないでいいですね。
答申にもありましたが、開隆堂は巻末の学びの資料が使いやすいと思いました。日本と外国の作品を並べて比較できるようになっていて、日本と海外の作品の雰囲気の違いなどがわかると思います。また、織り込みの部分も美術史をまとめてあって見やすいです。

- 北田教育長 日本と海外の作品を比較するというのは、大切な視点ですね。
- 中山委員 開隆堂は先生方からの報告書にもありますが、題材目のすぐ横に「知」「思」「学」とあって、学習の目標が一目で見やすくなっています。やはり、最初にこの題材目で何を学ぶのかという意識を持つことが大切だと思います。
- 北田教育長 ご意見がなければ、3冊に分かれているという利点を持つ教科用図書もありますが、内容、ご意見で言うと開隆堂を評価するご意見が多かった気がします。他にご意見がなければ、まとめたいと思います。美術については、みなさんのご意見をまとめると開隆堂の「美術」がふさわしいということによろしいでしょうか。
- 各委員 はい。
- 北田教育長 それではお諮りします。令和7年度使用中学校教科用図書「美術」については、開隆堂の「美術」を採択することに異議はありますか。
- 各委員 異議なし。
- 北田教育長 異議なしと認めます。
次に、保健体育の採択を行います。
前回、令和2年度のこの場では、採択時のポイントとして、「日々の生活や社会の動きにつながるような学びになるか」「インターネットに関する健康面などの最近の課題」「小学校や他の教科とのつながり」などが上がっていました。
では、委員の皆さんのご意見をお願いします。
- 長谷川委員 大修館の例えば28ページ、各章にあるんですが、テスト対策じゃないですが、問題に取り組みやすいと思います。54ページ、

ストレスへの対処の仕方ということで、リラクゼーションの方法などが大きくページを使って紹介されていて、心の健康というところに世間はいろいろ判断してしまっていますが、こういう取り組み方もいいのではないかと思います。

北田教育長 インターネットや性の多様性、このへんも最近、保健体育でも非常に重要な部分かと思いました。

村橋教育長職務代理者 授業で、例えば見開きで内容が全部把握が出来たら1時間で授業をするというときに、見開きが分かりやすいのが東京書籍です。東京書籍と両社見ているんですがですが、特に自然災害による災害防止ですが、どういうふうに災害に対して安全対策をするか、という流れを解りやすく表示されている。最初に言いましたが、見開きが1単位時間というあたりで、課題を見つけて解決して、というあたりの生徒の主体的な判断も含めて、いろいろ使いやすいのではないかと思います。

般谷委員 全体的に見ていきますと、性的な事に対して中学生としての重要な部分で、心のケアとか体の不調に対して女性が生を産み出していく大切さとか、その部分に対して思春期の心の変化を書いているのは東京書籍と大日本図書で、大日本図書が34ページ、東京書籍の32ページで、どちらも生殖機能の成熟によってこれからどうしていくかということが書かれてあって、この部分の中で内容を見てみますと、東京書籍の心の問題に対してよく考えが捉えられているなと思いました。中学生の子が登校拒否をしたりしています。中学生の段階で教育が出来るのは非常に大事なことだと思います。

北田教育長 思春期の性的な部分での心のケアを考えると東京書籍がということですね。
 他にいかがでしょう。

どちらかという、東京書籍の意見が強いと感じます。たくさん
の意見をいただきましたが、保健体育については、みなさん
のご意見をまとめると東京書籍の「新編 新しい保健体育」がふさ
わしいということによろしいでしょうか。

各委員 はい。

北田教育長 それではお諮りします。令和7年度使用中学校教科用図書「保
健体育」については、東京書籍の「新編 新しい保健体育」を採
択することに異議はありませんか。

各委員 異議なし。

北田教育長 異議なしと認めます。
次に、技術・家庭（技術分野）の採択を行います。
前回、令和2年度のこの場では、採択時のポイントとして、「実
習を伴う教科のため学習の流れをより具体的にわかりやすくす
る工夫」「段階的に学べる配慮」などが上がっていました。
では、委員の皆さんのご意見をお願いします。

村橋教育長職務代理者 東京書籍と開隆堂を見て、最初にどういう捉え方をしているか
というあたりは、情報セキュリティというあたりを見ていきまし
た。

授業で展開していくときにどうかということで、東京書籍の
32ページ、開隆堂30ページ、技術家庭の目標は何かというと、
そのことによって自分たちの自主生活を少しでも便利に工夫し
て、力を付けようというところなので、物の構造、特性を押さえ
たうえで、東京書籍の32ページがあって開隆堂30ページがある
んですが、まず、木材の特性を知ろう、内容を見てもらって、そ
れぞれのページをめくってください。東京書籍は木材から金属の
特性があります。木材をせっかくそこで押さえたら、木材はどん

な種類があってとか、どういう使われ方をしているかとか、木材を順番に見ていく。開隆堂のページをめくっていただいたら、加工の仕組みが出てきます。一連で木材の性質はこうです、種類はこうです、特徴的な事があって、今度は加工の仕組みが出てきます。切る、削るとか、切断とか。次にプラスチックの特性ということで、材料の種類をここで。実際に授業でやるときに、あっちこっちに飛ぶのではなくて、一つのことやっていって、木材しました、次にプラスチックにとか、金属に、の方が生徒の立場にしても解りやすいのかと思います。担当教員も押さえやすいかと思います。

北田教育長 教員からも生徒からも一連の流れが解りやすいということですね。

村橋教育長職務代理者 情報モラルのあたりは、両者とも問題ないです。

般谷委員 教育図書は家庭全般を見ていたら衣・食・住、また消費者として消費することにおいて、中学生で卒業して仕事に出る子もいたり、それ以外で言えば社会のことを消費生活を解っていかないといけない。その部分に力をいれているように感じました。

そこは大事なことで生産というもの、ＩＴ社会の中でメタバースの関連になっていく中で、いろんな地区地区で生産するもの、商業とか老朽化するものもそうですが、子どもたちとしてそこに命があるとか、地区で野菜を生産者が協力して作っていることを、それも先生方の教え方によって違ってくると思います。家庭分野の中で何かを作り出すということと、それによって自分たちが生活しているのか、そして消費していく、いろんなこともテクノロジーにいったいくと一番大事な事を忘れてしまいます。そんなふうに見ていたら教育図書の方がありきたりな事ですが、新しい消費世界に対してのこのように感じました。

北田教育長 これは技術なので、今のいただいたご意見は家庭の方に反映させていただきます。

他にいかがでしょう。

伊丹委員 情報通信ネットワークに関して、デジタルは切り離せないですし、そこに対する知識も凄くあります。開隆堂はページ数を使って解説されていて、意味では解ったとしても個々にあるネットワークや言葉も解りにくいので、そういうところも意識をして絵とかも採用して説明していただいているので、理解しやすいのかと思います。

北田教育長 開隆堂のご意見をいただきました。

他にいかがでしょう。

村橋教育長職務代理者 開隆堂の30ページ、31ページですが、下段に豆知識とあります。豆知識のところに、例えばここで春材とか夏材とか、何で年輪って色がシマシマになるのというあたりが、ここの春材、夏材で見たら面白いんです。例えば、発展的な「何で年輪は出来るの」という疑問に対して、「ああなるほど」みたいな。教科書をつくるうえで、豆知識を入れるのも使い方によっては面白いと思います。

北田教育長 みなさんのご意見をまとめると技術分野は開隆堂の「テクノロジーに希望をのせて」がふさわしいということによろしいでしょうか。

各委員 はい。

北田教育長 それではお諮りします。令和7年度使用中学校教科用図書「技術・家庭（技術分野）」については、開隆堂の「テクノロジーに希望をのせて」を採択することに異議はありませんか。

各委員 異議なし。

北田教育長 異議なしと認めます。

次に、技術・家庭（家庭分野）の採択を行います。

家庭分野は先ほど般谷委員がおっしゃっていただいたように、テクノロジーばかりではなくて、生産背景やさまざまな人とかに目を向けられるようにということで、教育図書の方がそのへんは優れているということでご意見をいただきました。

他にいかがでしょう。

長谷川委員 比べますと、開隆堂にだけヤングケアラーというワードの取扱いがありました。重点的にヤングケアラーのお子さんを早く発見しよう、発見してすぐに支援しようというかたちの流れになっていますので、ここでヤングケアラーを取り扱っているのは、新しい取り組みだと思います。新しい情報をすぐに取り入れているという印象を受けました。

伊丹委員 東京書籍と開隆堂で生姜焼きの調理実習の比較をすると、作り方が書いていますが、開隆堂は肉の加熱の変化があって安全面での配慮の記載があります。次のページのハンバーグとかでもレトルトを冷凍するとか、身近なところで配慮があるなと思いますので、面白くて解りやすいと思いました。

北田教育長 調理実習の比較をすると、開隆堂が解りやすい。

村橋教育長職務代理者 家族の構成を学ぶという、よりよい生活の実現に向けて何をするか生活を工夫してその能力を実現するというあたりで、この家族、家庭、生活からこの関連が開隆堂は非常によく出来ていると思っています。ここの場合は、一人ひとり生徒が考えるいい材料だと思っています。

北田教育長 教育図書、開隆堂のお名前が出ましたが、開隆堂の方のご意見が強いなと思います。般谷委員のご意見も大事ですので、授業でもそうですし、教科書でもそういうお気持ちを含めながら指導したいと思います。

それでは、まとめたいと思います。技術・家庭（家庭分野）については、みなさんのご意見をまとめると家庭分野は開隆堂の「自立しともに支えあう生活へ」がふさわしいということでしょうか。

各委員 はい。

北田教育長 それではお諮りします。令和7年度使用中学校教科用図書「技術・家庭（家庭分野）」については、開隆堂の「自立しともに支えあう生活へ」を採択することに異議はありませんか。

各委員 異議なし。

北田教育長 異議なしと認めます。

次に、英語の採択を行います。

前回、令和2年度のこの場では、採択時のポイントとして、「小学校とのつながり」「取り組みやすい構成」「社会的・世界的な課題とつながって考えられるような工夫」「デジタル教科書の使いやすさ」などが上がっていました。それでは、ご意見お願いします。

村橋教育長職務代理者 一番に考えたのは、小学校で5・6年生が外国語、3・4年生は外国語活動、同時進行で学んでいって、伝えるとか知りたいというのをスムーズに中学校の英語科につなげていく。そこには何かと言うと小学校の英語を迎える内容が最初にあがっています。そこが丁寧かどうか見て行ったら、三省堂の内容がずっと入っ

ていくかなと思います。

北田教育長 どの出版社も綺麗で、写真も大きく分かりやすく子どもたちにも興味を引くように作られておりますので、これと決めづらいかもしれませんが、特徴的なご意見をいただければと思います。

伊丹委員 英語は結局自分の意志を伝えるための道具なので、表現をするというのがあって、三省堂は冒頭でトークということで、話しかけたり話すことからスタートしています。会話をするという点ではいいかなと思います。

北田教育長 実際に実生活でも会話からということですね。三省堂の意見をいただきました。

般谷委員 東京書籍と三省堂を比べても、いろんなことが最後に解るようになっていて、体のこと、人の性格とか、そういうふうに分けてくれていますし、最初から三人称、単数形とか子どもたちが、一番たいへんなところと、後はbe動詞とか、その中で、基本から忠実にやっているのが三省堂と思います。

長谷川委員 東京書籍の要所要所にありますコラムという、例えば、3年生の104ページ、実際に英語の長文が載っていて、これを読みましようとなっているんですが、ちゃんと日本語でその背景とか、それをコラムというところに歴史とか、英文を和訳するという視点とは関係はないけども、きっちり取り上げられている題材に対しての説明も載っています。それがいろんなページで見受けられました。もちろん英語の教科書なので英語を学ぶのが主ですが、このコラムも見逃せないのが印象です。

北田教育長 前回令和2年度もそうでしたが、英語から世界の歴史へという意味ですね。

他にいかがでしょう。

ご意見としては三省堂を推すご意見も多かったので、三省堂でまとめさせていただいてよろしいでしょうか。

もちろんどの出版社も世界的課題は配慮されていると思います。

長谷川委員 三省堂も端末の資料なんかはとっても充実していて使いやすいという印象を受けました。

北田教育長 そのあたりも含めて、三省堂でまとめたいと思います。

長谷川委員 そうですね。

北田教育長 英語については、みなさんのご意見をまとめると三省堂の「NEW CROWN English Series」がふさわしいということでしょうでしょうか。

各委員 はい。

北田教育長 それではお諮りします。令和7年度使用中学校教科用図書「英語」については、三省堂の「NEW CROWN English Series」を採択することに異議はありませんか。

各委員 異議なし。

北田教育長 異議なしと認めます。
最後に、道徳の採択を行います。
前回、令和2年度のこの場では、採択時のポイントとして、「自分から考える教科書」「いじめについてさまざまな角度から考えられる構成」「教科書での発問の示し方」などが上がっていました。

では、委員の皆さんのご意見をお願いします。

伊丹委員 日本文教出版で、道徳ノートが別冊で付いていて、いろいろ留めるようになっていきます。調査報告書でもそこが評価されているので、先生の進め方として道徳は考えが難しいと思いますが、こういうノートが付いていて、進め方がある程度あれば先生方も伝えやすいかなと感じました。

北田教育長 今おっしゃったように、学校からも道徳ノートがあれば1年の自分の振り返りができるという教員の意見も出ておりました。
他にいかがでしょう。

村橋教育長職務代理者 今は「特別の教科道徳」ときちんと見据えて位置づけられているからこういう教科書もあります。副読本を使ってやっていたことを思い出しているんですが、その時に道徳は教科横断的に全体でやらないといけない。そういうふうにはやっていた時代がありました。その時にいじめ事象、学期始め不登校で学年でも大きな問題になっているという。例えば、生徒には何の力が必要か、自己肯定感、人権意識を高めるとか。問題事象としていじめと向き合うという、その自分の問題としていじめに対してどう向き合うのか、それが大事だと思っています。年間のスケジュール間も含めて、いじめに対しての問題提起、学びがどこにあるかというのは、非常に日本文教出版の「明日を生きる」、この教科書の内容の進め方からしても使いやすいというイメージです。

北田教育長 選定委員会からも日本文教出版がということでいろんな意見が出ていました。道徳ノートは学校からは使いやすいという評価の意見もいただいていますので、まとめさせていただいて、道徳については、日本文教出版の「中学道徳 明日を生きる」がふさわしいということによろしいでしょうか。

各委員 はい。

北田教育長 それではお諮りします。令和7年度使用中学校教科用図書「道徳」については、日本文教出版の「中学道徳 明日を生きる」を採択することに異議はありませんか。

各委員 異議なし。

北田教育長 異議なしと認めます。

これで、中学校全種目の採択が終わりましたので、最後に全種目の確認をいたします。

国語 光村図書 国語、書写 光村図書 中学書写、社会（地理的分野）教育出版 中学社会 地理 地域にまなぶ、社会（歴史的分野）帝国書院 中学生の歴史日本の歩みと世界の動き、社会（公民的分野）教育出版 中学社会 公民 とともに生きる、地図 帝国書院 中学校社会科 地図、数学 東京書籍 新編新しい数学、理科 啓林館 未来へひろがるサイエンス、音楽（一般）教育芸術社 中学生の音楽、音楽（器楽合奏）教育芸術社 中学生の器楽、美術 開隆堂 美術、保健体育 東京書籍 新編 新しい保健体育、技術家庭（技術分野） 開隆堂 技術分野テクノロジーに希望をのせて、技術家庭（家庭分野） 開隆堂 家庭分野自立しともに支え合う生活へ、外国語（英語）三省堂 NEW CROWN English Series、道徳 日本文教出版 中学道徳 明日を生き。

これらを採択することに異議はありませんか。

各委員 異議なし。

北田教育長 異議なしと認めます。

続いて、令和7年度使用の小学校の教科書採択に移りますが、小学校の教科書については、「令和7年度においては、無償措置

法第14条の規定に基づき、令和6年度と同一の教科書を採択しなければならない」ことから、今回は、現行の教科書の採択を承認していただくものです。現行の教科書は資料3のとおりです。何か、ご質問等があればお願いします。

ないようでしたらお諮りします。令和7年度使用小学校教科用図書については、資料3の現在使用している教科用図書が相応しいということで、採択することにご異議はありませんか。

各委員 異議なし。

北田教育長 異議なしと認めます。これにより、令和7年度使用小・中学校教科用図書の採択はすべて議決されました。

以上で、議案第25号「令和7年度使用交野市立小中学校教科用図書の採択について」を終わります。

これを持ちまして令和6年第10回教育委員会臨時会を終了いたします。

交野市教育委員会会議規則第20条の規定により署名する。

交野市教育委員会

教育長

委 員
